

いわて県連だより

【第78号】 発行日：2025年3月 発行責任者：自由民主党岩手県支部連合会



第九十二回 自民党大会



令和七年三月九日、都内で自民党大会が開催されました。今大会には、連立を組む公明党の斉藤鉄夫代表、日本経団連の十倉雅和会長に加え、連合の芳野友子会長も二十年ぶりに来賓として出席されました。

石破総裁は、政治とカネの問題により国民の政治不信が拡大していることを踏まえ、「野党のときどきの気持ちを取り戻し、主権者の声に謙虚でありたい。」と力説しました。また、政権維持がかかる夏の参議院選に向けて「必ず勝ち抜くべく、わが身を滅して総力を尽くす。国家国民、次の時代のため」に結束、団結、行動を心より願うとする」と強く語りました。

業、林業、サービス業、中小企業の持てる力を引き出し、日本をも一度すばらしい国として生まれ変わらせる、と訴えました。

参加した菅原亮太県議は「我々自民党は日本の未来を背負う政党として、足を引っ張り合うのではなく、明日を引っ張っていく存在でなければならぬ」と強く心に誓う大会となった。」と話していました。

今年が立党七十周年という節目の年。日本の未来をしっかりと守り、前に進めていく責任を改めて実感するとともに、混乱する社会情勢の中で、安定した政治が求められている。国民の皆様の期待に応えられるよう、これからも地道に活動を続けてまいります。



大船渡市大規模林野火災 激甚災害指定へ

大船渡市の林野火災に関し、三月十三日、自民党岩手県連災害対策本部（本部長・白澤勉県連幹事長）が、知事へ緊急要望を行いました。

三月三日、岩手県連では延焼が続いている大船渡市を訪れ、市長、市議会議長と意見交換をする。同時に、避難所四か所を回る現地調査を行い、行政、地元住民をはじめとする多くの悲痛な声を聴取しました。また党本部から小野寺五典政調会長、鈴木俊一総務会長もそれぞれ被災地に入られ、一刻も早い、なりの再生、生活再建、復旧復興がなされるよう石破総裁へも強く要望し、三月二十五日に「局地激甚災害」に指定することが閣議決定されました。

被災された方々に衷心よりお見舞いを申し上げますと共に、皆様の一日も早い再建を心よりお祈りいたします。



大船渡市大規模林野火災に対する要望・提言について

- 1.大船渡市に対する支援**
 - (1)激甚災害の早期指定 ※
 - (2)地方財政負担の軽減
- 2.被災者への支援**
 - (1)避難所の環境整備
 - (2)被災者の心のケア
 - (3)避難先の備品支援
 - (4)被災者の住宅確保
 - (5)被災者生活再建支援法適用
 - (6)被災者の水光熱費支援
- 3.なりわい再生・漁業支援**
 - (1)国の支援と県の上乗せ支援
 - (2)漁業関係者支援 など
- 4.森林の再整備とインフラ復旧**
 - (1)災害復旧事業への支援
 - (2)断水解消支援
 - (3)災害廃棄物処理支援
 - (4)残木材の県利活用
- 5.情報発信・防犯対策**
 - (1)SNS・不審電話の取締強化
 - (2)全体的な山火事警戒
- 6.今回の林野火災の検証**
 - (1)県が主体となった検証
 - ①出火原因等
 - ②大規模化した要因

※3月25日「局地激甚災害」に指定することが閣議決定された。

青年局表彰 岩崎友一氏



党本部の青年局表彰において、県連会長代理の岩崎友一氏が表彰されました。

岩崎氏は、県連青年局長を八年務め、特に東日本大震災津波被災地の復興を後押しする全国の青年局活動では、時々刻々と変わる課題を共有し、解決に向けてご尽力いただきました。今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

